

## 第64期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。  
(平成26年6月1日より平成27年5月31日まで)

### 1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「自然科学書協会講演会2014」を開催した(文部科学省後援)。
  - ・日時:平成26年7月27日(日)14時30分～16時10分
  - ・会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館)
  - ・講師:小泉 武夫氏(東京農業大学名誉教授)
  - ・演題:「わが心に残る発酵食品」
  - ・聴講者:111名
- 平成26年6月22日(日)三省堂書店との共催で、講師に浦島充佳・慈恵会医科大学教授、コーディネータに保坂直紀氏・東京大学海洋アライアンス上席主幹研究員を迎え、「グローバルヘルスとリーダーシップ」と題したサイエンスカフェを開催した(参加者14名)。

### 2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会(以下 書協)をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。

- 「自然科学書フェア2014」を開催した。

今期は喜久屋書店小倉店で行った。

期日:平成26年10月1日(水)～31日(金)  
テーマ:科学立国日本を支える自然科学書の力  
参加社数:44社  
出展点数:857点  
出品冊数:1,063冊  
売上:89点 101冊 282,724円

- 「第21回東京国際ブックフェア」(TIBF2014)を例年通り後援し、協会単独ブースで展開した。

各分野別に展示したほか、「ビギナーにおすすめ、目で見るとサイエンス」と「統計学はおもしろい」の特別展示コーナーを設置した。また、5,000円以上の購入者に、抽選で500円の図書カードをプレゼントしてブースを盛り上げた。

- ・期日:平成26年7月2日(水)～5日(土)
- ・会場:東京ビッグサイト西ホール
- ・参加社数:会員社62社+非会員社3社
- ・出品冊数:2,536冊
- ・総売上げ冊数:517冊

○海外のブックフェアに出展し、当協会会員社出版物の海外への普及を図った。

・「第 21 回北京国際図書展示会」(BIBF2014)

協会より 1 社 10 冊まで 1 冊 1,000 円の出品補助金を出し、普及促進を図った結果、出品冊数が 23 社・291 冊(昨年比 +5 社、+118 冊)と大幅に増加した。BIBF 日本事務局(トーハン・東方書店)より当協会用に 3 ブースが用意され、全点面陳で展示することができた。著作権の問合せは 6 社にあった。

・期日：2014 年 8 月 27 日(水)～31 日(日)

・会場：中国新国際展覽センター

・「第 66 回フランクフルトブックフェア」(FBF2014)

出版文化国際交流会の当協会・出版梓会・大学出版部協会の共同ブースに、当協会会員社 18 社 43 点を出品した。

・期日：2014 年 10 月 8 日(水)～12 日(日)

・会場：フランクフルトメッセ

○当協会の英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

### 3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○「著作権法の一部を改正する法律」が、第 186 回通常国会において、平成 26 年 4 月 25 日(金)に成立し、同年 5 月 14 日(水)に公布された。これに伴い日本医書出版協会の協力を得て出版契約書のひな型の作成を検討した。

○PDF などの電子ファイルへの複製許諾に対応すべきの方針より、出版者著作権管理機構(以下 JCOPY)の使用料規程の改定に協力し平成 27 年 4 月 1 日(水)から施行することとなった。

○日本の複製権管理団体がほぼ鼎立状態になっているが、これらを一本化することを目標とし、JCOPY からの日本複製権センター(JRRC)への申し入れに協力した。

### 4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○平成 27 年度文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員各社から当該表彰候補を募ったが、今年度は応募がなかったため、当協会からの推薦は行わなかった。

### 5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 17 回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

・日時：平成 26 年 11 月 18 日(火) 16:30～18:00

・会場：日本出版会館

・講師：谷一文子氏(株式会社図書館流通センター代表取締役会長  
神奈川県海老名市立中央図書館 館長)

演題：「図書館の現状と図書館利用者からみた出版」

## 6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年4回発行した（平成26年7月，11月，平成27年1月，4月）。

・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各専門委員会の活動報告／自然科学各分野の著名人によるエッセイ／講演会の要約／国際ブックフェアの報告など

・自然科学知識の普及，当協会の活動の告知，会員増強などのために，会報を日本出版クラブ会館ロビーなどで展示配布のほか，各関連団体へも送付した。平成26年7月号は東京国際ブックフェア会場（7月2日<水>～5日<土>，東京ビッグサイト）にて一般向けに900部配布した。

○ホームページを常に最新の状態にして，外部への情報発信を行った。

・協会の概要を掲載し，常に更新した。

・会報のPDF版を掲載した。

・「自然科学書協会講演会2014」「同2015」の案内を掲載した。

・「東京国際ブックフェア2014」「同2015」の案内を掲載した。

・「自然科学書フェア2014」「同2015」とそれに関連したイベントの案内を掲載した。

・当協会が主催もしくは関係した行事の内容を当協会のホームページの「ニュース・お知らせ」に掲載し，広く告知を図った。

## 7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○平成26年4月1日（火）の消費税率変更之际，経過措置も含めて書店店頭における運用が適切に行われるよう書協その他関連団体と連携して対応した。

○平成29年4月に予定されている消費税率10%への変更の際に導入を要請している出版物に対する軽減税率適用問題についてその意義，効果，影響等について検討し，特に仕入にかかる仮払消費税が軽減税率適用による仮受消費税を上回った場合に必要となる消費税還付問題を含めて書協その他の関連団体と意見交換を行い，その実現に向けて活動を開始した。

○出版業界で行う諸事業（全出版人大会の開催，出版平和堂の活動など）に協力した。

・平成27年5月11日（月）に，第54回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され協賛団体として協力を行った。

・平成26年10月3日（金）に，出版平和堂第46回出版功労者顕彰会が執り行われ，当協会は出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○当協会の活動状況を業界紙などに積極的に働きかけて報道依頼し，当協会の活動並びに存在意義を広く告知した。

以上

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 7 月  
一般社団法人 自然科学書協会